

GPS 自動解析ソフトウェア
ロールオーバー対応プログラム

MGROver.exe

取 扱 説 明 書

システム機器事業部 ITS BU GPS 応用推進課
〒662-0934
兵庫県西宮市西宮浜 2 丁目 20 番
TEL0798-33-7552 FAX0798-33-7511

2013 年 05 月 08 日 発行



古野電気株式会社

本書の著作権は、古野電気株式会社に帰属します。
本書の内容の一部、または全部を古野電気株式会社の許可なく複製、転載、あるいは
翻訳することを禁じます。

目 次

| | | |
|--------|----------------------------------|----|
| 1. | はじめに..... | 4 |
| 1.1. | MGROver.exe の使い方の参照先(章番号)..... | 4 |
| 1.2. | 注意点 | 5 |
| 1.3. | ダウンロードファイル..... | 6 |
| 2. | 機能..... | 6 |
| 2.1. | 対象の GPS 観測ファイルについて | 6 |
| 2.2. | 正しい GPS 時刻の GPS 観測ファイルについて | 6 |
| 2.3. | ロールオーバー対応の方法 | 6 |
| 2.4. | ロールオーバー対応前後のファイル名例 | 7 |
| 2.4.1. | SIG ファイル名例..... | 7 |
| 2.4.2. | RMG ファイル名例..... | 7 |
| 2.5. | コマンドライン..... | 8 |
| 3. | 自動変換の設定手順..... | 9 |
| 4. | 再解析の手順..... | 13 |
| 5. | 手動変換の手順 | 16 |

1. はじめに

GPS 受信機 MG-2110 で観測した GPS 観測ファイル(SIG ファイル/RMG ファイル)の GPS 時刻が、2013/8/11 00:00:01 [UTC]に、過去の 1993/12/26 00:00:01[UTC]に戻るロールオーバーが起き、正常な解析結果が得られなくなります。

また、GPS 観測ファイル名は、過去に戻った GPS 時刻に基づいたファイル名となります。

MG-2110 以外の GPS 受信機 MG-311 * (※1)は 2017/9/17 00:00:01[UTC]に、1998/2/1 00:00:01 [UTC]に戻り、GPS 受信機 MG-3111C は 2022/1/2 00:00:01 [UTC]に、2002/5/19 00:00:01 [UTC]に戻ります。

| GPS 受信機 | ロールオーバーが起きる日時[UTC] | 過去に戻った GPS 時刻[UTC] |
|----------|--------------------|---------------------|
| MG-2110 | 2013/8/11 00:00:01 | 1993/12/26 00:00:01 |
| MG-311 * | 2017/9/17 00:00:01 | 1998/02/01 00:00:01 |
| MG-3111C | 2022/1/02 00:00:01 | 2002/05/19 00:00:01 |

表 1-1 GPS 受信機別ロールオーバー時期

ロールオーバー対応プログラム MGROver.exe は、GPS 自動解析ソフトウェアの一部で、以下を行います。

- ・過去に戻った GPS 時刻を正しい GPS 時刻に変換する(以降、ロールオーバー対応と記述する)。
- ・正しい日時の GPS 観測ファイル名に変換する。

解析処理を行う前に本プログラムを使用することで、正しい日時の GPS 観測ファイルになり、正常な解析結果が得られるようになります。

1.1. MGROver.exe の使い方の参照先(章番号)

MGROver.exe の使い方(手順)について、下表に記述している章を参考にしてください。

なお、「1.2 注意点」に記載している内容に注意して、MGROver.exe を使用してください。

| 内容 | 章番号 |
|---|------------------------------------|
| 自動でロールオーバー対応を行う場合の設定手順 | 「3 自動変換の設定手順」を参照してください。 |
| 手動でロールオーバー対応を行う場合の手順 | 「5 手動変換の手順」を参照してください。 |
| GPS 時刻が過去に戻った GPS 観測ファイルで解析を行ってしまった場合の再解析の手順 | 「4 再解析の手順」を参照してください。 |
| GPS 時刻が過去に戻った GPS 観測ファイル名及び、対応後の GPS 観測ファイル名例 | 「2.4 ロールオーバー対応前後のファイル名例」を参照してください。 |

表 1-2 参照先(章番号)

※1 MG-311 * は、MG-3110 / MG-3111 / MG-3112 / MG-3111A / MG-3111B があります。

1.2. 注意点

本プログラムを使用するにあたり、以下の注意点があります。

| No | 注意点 |
|----|---|
| 1 | 2013 年 8 月 11 日[UTC]に観測したxxxxL26Z.SIG(例. 0472L26Z.SIG)のみ、ロールオーバー対応を行いません。 ※xxxxL26Z.SIG の GPS 時刻は、過去に戻った 1993 年 12 月 26 日のままです。 |
| 2 | 解析装置のシステム時刻を正しい日本時刻に合わせてください。 ※システム時刻が正しい時刻になっていない場合、過去に戻った GPS 時刻か、正しい GPS 時刻かの正しい判定ができず、ロールオーバー対応が行われない可能性があります。 |
| 3 | 本プログラムにて、ロールオーバー対応した GPS 観測ファイルのファイル名は、正しい GPS 時刻に基づいて作成し、上書き出力します。 また、元の GPS 観測ファイルを削除します。 但し、ロールオーバー対応に失敗した場合は、元の観測ファイルは削除されません。 ※GPS 観測ファイル名については、「2.4 ロールオーバー対応前後のファイル名例」を参照してください。 |
| 4 | 本プログラムは、15 年以上前の GPS 観測ファイルの GPS 時刻に対して、ロールオーバー対応を行います。 よって、15 年前の GPS 観測ファイルを、本プログラムでロールオーバー対応した場合、未来の GPS 時刻に変換されます。 例. 1998/03/15 00:00:00 ~ 1998/03/15 00:59:30[UTC]の 0472C150.SIG が、 2017/10/29 00:00:00 ~ 2017/10/29 00:59:30[UTC]の 0472J290.SIG に、 変換されます。 ※15 年以上前の GPS 観測ファイルを、GPS 自動解析ソフトウェアで再解析する場合は、本プログラムを使用しないでください。 |

表 1-3 注意点

1.3. ダウンロードファイル

| ファイル名 | 内容 |
|---------------------|------------------|
| MGROver.exe | ロールオーバー対応プログラム |
| Readme_MGROver.txt | 本プログラムのリードミーファイル |
| ロールオーバー対応プログラム取扱説明書 | 本プログラムの取扱説明書 |

表 1-4 ダウンロードファイル

2. 機能

2.1. 対象の GPS 観測ファイルについて

本プログラムは、以下の GPS 観測ファイルに対応しています。

| GPS 観測ファイル | GPS 受信機 |
|---------------|---------------------------------------|
| SIG ファイル | MG-2110 |
| RMG ファイル | MG-2110 / MG-3110 / MG-3111 / MG-3112 |
| 10 分 RMG ファイル | MG-3111A / MG-3111B / MG-3111C |

表 2-1 対象の GPS 観測ファイル

2.2. 正しい GPS 時刻の GPS 観測ファイルについて

以下の GPS 観測ファイルは、正しい GPS 時刻です。

- ・ソフトウェアを更新した GPS 受信機で観測した GPS 観測ファイル。
- ・本プログラムにて、ロールオーバー対策を行った GPS 観測ファイル。

本プログラムは、過去に戻った GPS 時刻か、正しい GPS 時刻かの判定をしており、正しい GPS 時刻については変換を行いません。

よって、上記の正しい GPS 時刻の GPS 観測ファイルを本プログラムで実行しても問題ありません。

2.3. ロールオーバー対応の方法

本プログラムには、以下のロールオーバー対応の方法があります。

①自動変換機能：

GPS 自動解析ソフトウェアの Auto.bat に、本プログラムのコマンドラインを記述することで、自動でロールオーバー対応を行います。

Auto.bat の設定手順は、「3 自動変換の設定手順」を参照してください。

②手動変換機能：

MGROver.exe を起動し、画面操作にて任意の GPS 観測ファイルのロールオーバー対応を行います。

画面操作の手順は、「5 手動変換の手順」を参照してください。

2.4. ロールオーバー対応前後のファイル名例

GPS 受信機 MG-2110 から回収した GPS 観測ファイル名例と、本プログラムにてロールオーバー対応した GPS 観測ファイル名例を、下表に記述します。

2.4.1. SIG ファイル名例

GPS 受信機 ID が 0472 の場合の SIG ファイル名例を記述します。

| GPS データを観測した日時[UTC] | GPS 受信機から回収した時の GPS 観測ファイル名(※1) | ロールオーバー対応後のファイル名例(※2) |
|---|--|--|
| 2013/8/11 00:00:00 ~ 2013/8/11 00:59:30 | 0472H110.SIG (1993/12/26 00:00:00 ~ 00:59:30) | 0472H11Z.SIG (※3) (2013/8/11 00:00:00 ~ 00:59:30) |
| 2013/8/11 01:00:00 ~ 2013/8/11 01:59:30 | 0472L260.SIG (1993/12/26 01:00:00 ~ 01:59:30) | 0472H110.SIG (2013/8/11 01:00:00 ~ 01:59:30) |
| 2013/8/11 10:00:00 ~ 2013/8/11 10:59:30 | 0472L269.SIG (1993/12/26 10:00:00 ~ 10:59:30) | 0472H119.SIG (2013/8/11 10:00:00 ~ 10:59:30) |
| 2013/8/11 11:00:00 ~ 2013/8/11 11:59:30 | 0472L26A.SIG (1993/12/26 11:00:00 ~ 11:59:30) | 0472H11A.SIG (2013/8/11 11:00:00 ~ 11:59:30) |
| 2013/8/11 23:00:00 ~ 2013/8/11 23:59:30 | 0472L26M.SIG (1993/12/26 23:00:00 ~ 23:59:30) | 0472H11M.SIG (2013/8/11 23:00:00 ~ 23:59:30) |
| 2013/8/12 00:00:00 ~ 2013/8/12 00:59:30 | 0472L270.SIG (1993/12/27 00:00:00 ~ 00:59:30) | 0472H120.SIG (2013/8/12 00:00:00 ~ 00:59:30) |

表 2-2 SIGの入出力ファイル名例

2.4.2. RMG ファイル名例

GPS 受信機 ID が 0472 の場合の RMG ファイル名例を記述します。

| GPS データを観測した日時[UTC] | GPS 受信機から回収した時の GPS 観測ファイル名(※1) | ロールオーバー対応後のファイル名例(※2) |
|---|--|---|
| 2013/8/11 00:00:00 ~ 2013/8/11 00:59:30 | 0472H110.RMG (1993/12/26 00:00:00 ~ 00:59:30) | 0472H110.RMG (2013/8/11 00:00:00 ~ 00:59:30) |
| 2013/8/11 01:00:00 ~ 2013/8/11 01:59:30 | 0472L261.RMG (1993/12/26 01:00:00 ~ 01:59:30) | 0472H111.RMG (2013/8/11 01:00:00 ~ 01:59:30) |
| 2013/8/11 10:00:00 ~ 2013/8/11 10:59:30 | 0472L26A.RMG (1993/12/26 10:00:00 ~ 10:59:30) | 0472H11A.RMG (2013/8/11 10:00:00 ~ 10:59:30) |
| 2013/8/11 11:00:00 ~ 2013/8/11 11:59:30 | 0472L26B.RMG (1993/12/26 11:00:00 ~ 11:59:30) | 0472H11B.RMG (2013/8/11 11:00:00 ~ 11:59:30) |
| 2013/8/11 23:00:00 ~ 2013/8/11 23:59:30 | 0472L26N.RMG (1993/12/26 23:00:00 ~ 23:59:30) | 0472H11N.RMG (2013/8/11 23:00:00 ~ 23:59:30) |
| 2013/8/12 00:00:00 ~ 2013/8/12 00:59:30 | 0472L270.RMG (1993/12/27 00:00:00 ~ 00:59:30) | 0472H120.RMG (2013/8/12 00:00:00 ~ 00:59:30) |

表 2-3 RMGの入出力ファイル名例

※1 GPS 時刻は、過去の 1993 年 12 月 26 日です。

※2 GPS 時刻は、正しい 2013 年 8 月 11 日です。

※3 2013/08/11 00:00:00[UTC]に観測したxxxxH110.SIG(例. 0472H110.SIG)のみ、ファイル名の末尾が“Z” (例. 0472H11Z.SIG)になりますが、正しい GPS 時刻になります。

2.5. コマンドライン

本プログラムのコマンドラインは、以下の通りです。

MGROver.exe GPS 観測ファイル オプション引数

・入力ファイル名

ロールオーバー対応を行う GPS 観測ファイルを指定します。

指定方法は、以下の何れかとなります。

- ①フォルダ名による指定例(指定したフォルダ内の SIG ファイル/RMG ファイルがロールオーバー対応されます。)

MGROver.exe C:\¥西宮 GPS 観測¥SIG

- ②ワイルドカードによる指定例(指定した拡張子のファイルがロールオーバー対応されます。)

MGROver.exe C:\¥西宮 GPS 観測¥SIG ¥*.sig

- ③ファイル名による指定例(指定したファイルがロールオーバー対応されます。)

MGROver.exe C:\¥西宮 GPS 観測¥SIG¥0472L261.sig

・オプション引数

/NOTDEL :元の GPS 観測ファイルを削除しません。

入力ファイルを削除しない場合の指定例

MGROver.exe C:\¥西宮 GPS 観測¥SIG /NOTDEL

3. 自動変換の設定手順

Auto.bat を編集する時は、自動解析処理が実施されない時間帯に行ってください。

- ①ダウンロードした“MGROver.exe”と“Readme_MGROvertxt”を、解析フォルダ(※1)の配下にある TOOL フォルダに格納します(例. C:\西宮 GPS 観測\TOOL)。

※実際の解析フォルダ配下の TOOL フォルダに格納してください。



図 3-1 TOOL フォルダ例

※1 GPS 自動解析ソフトをインストールしているフォルダ。

②解析フォルダ直下の Auto.bat(例. C:\西宮 GPS 観測\Auto.bat)をエディタで開きます。

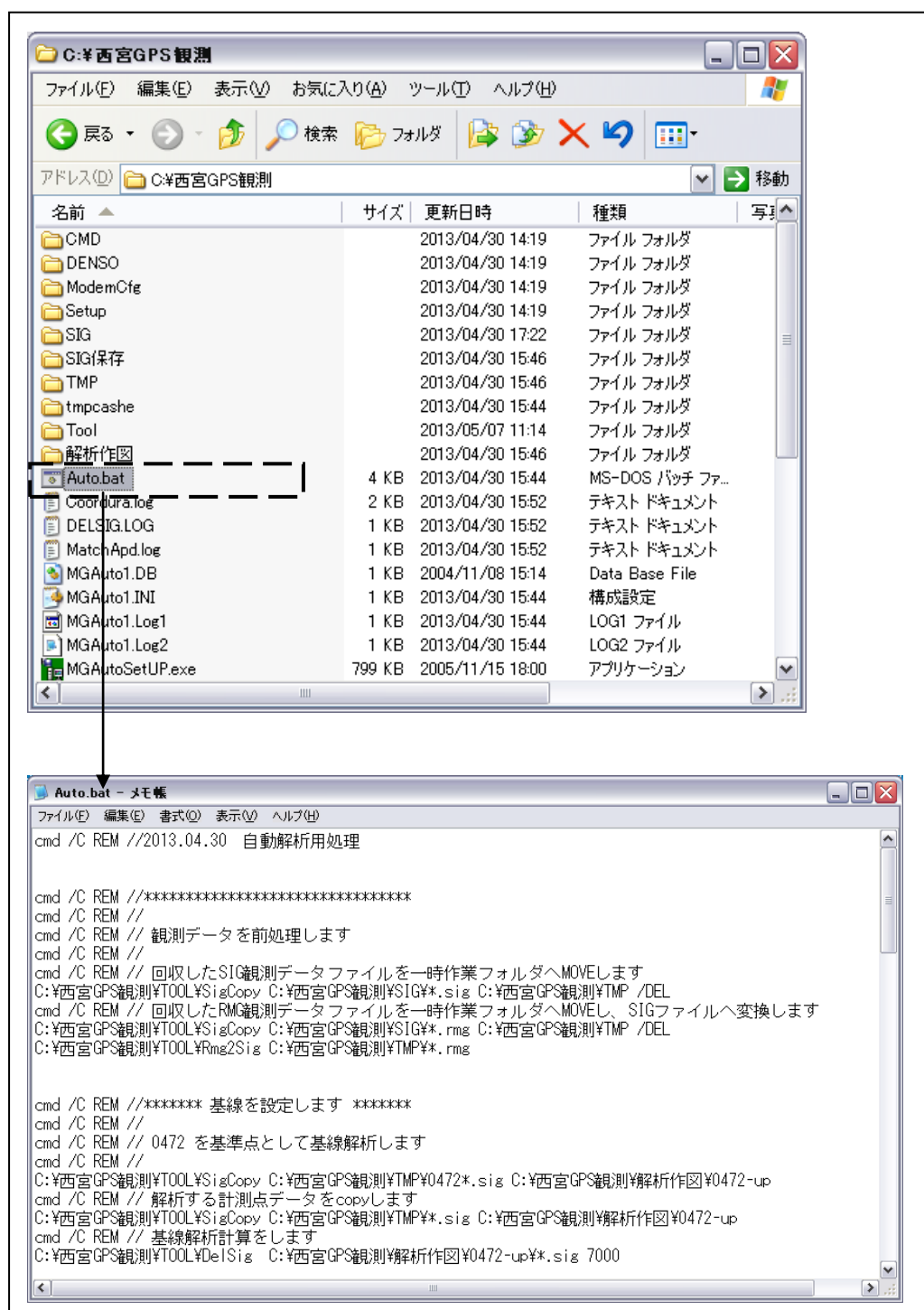


図 3-2 Auto.bat 例

③Auto.bat の先頭に、本プログラムのコマンドラインを追記します(下図(i)のコマンドライン)。

※注意)
フォルダ名(太字箇所)は、解析フォルダです。
実際の Auto.bat に記述されているフォルダ名
を記述します。

```
cmd /C REM //2013.04.30 自動解析用処理

cmd /C REM //2013.05.10 ロールオーバー補正を行います
C:\西宮 GPS 観測\TOOL\MGROver.exe C:\西宮 GPS 観測\SIG (i) MGROver.exe の処理

cmd /C REM //*****
cmd /C REM //
cmd /C REM // 観測データを前処理します
cmd /C REM //
cmd /C REM // 回収した SIG 観測データファイルを一時作業フォルダへ MOVEします
C:\西宮 GPS 観測\TOOL\SigCopy C:\西宮 GPS 観測\SIG\*.sig C:\西宮 GPS 観測\TMP\DEL
cmd /C REM // 回収した RMG 観測データファイルを一時作業フォルダへ MOVEし、SIG ファイルへ変換します
C:\西宮 GPS 観測\TOOL\SigCopy C:\西宮 GPS 観測\SIG\*.rmg C:\西宮 GPS 観測\TMP\DEL
C:\西宮 GPS 観測\TOOL\Rmg2Sig C:\西宮 GPS 観測\TMP\*.rmg

cmd /C REM //***** 基線を設定します *****
cmd /C REM //
cmd /C REM // 0472 を基準点として基線解析します
cmd /C REM //
C:\西宮 GPS 観測\TOOL\SigCopy C:\西宮 GPS 観測\TMP\0472*.sig C:\西宮 GPS 観測\解析作図\0472-up
cmd /C REM // 解析する計測点データを copy します
```

図 3-3 Auto.bat 追記例

※MGROver.exe のコマンドラインの説明

“C:\西宮 GPS 観測\SIG”フォルダにある SIG ファイル及び、RMG ファイルをロールオーバー対応
します。

コマンドラインの詳細については、Readme_MGROver.txt を参照してください。

④Auto.bat を上書き保存し、終了します。

⑤ロールオーバーが起きる 2013 年 8 月 11 日以降に、解析結果ファイルを確認します。

解析結果ファイル(例. 0472-7474.txt)をエクセルで開き、“収集日時(年)”～“収集日時(秒)”までの日時[JST]に、正しい GPS 時刻が出力されていれば、ロールオーバー対応に成功しています。

※ロールオーバーが起きる日は、GPS 受信機によって、異なります。

詳細は、「表 1-1 GPS 受信機別ロールオーバー時期」を参照してください。

| ID | 結果 | 解析対象開始GPS時刻(秒) | 解析対象終了GPS時刻(秒) | 収集日時(年) | 収集日時(月) | 収集日時(日) | 収集日時(時) | 収集日時(分) | 収集日時(秒) |
|------|----|----------------|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 7474 | 1 | 1060200000 | 1060203570 | 2013 | 8 | 11 | 5 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060203600 | 1060207170 | 2013 | 8 | 11 | 6 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060207200 | 1060210770 | 2013 | 8 | 11 | 7 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060210800 | 1060214370 | 2013 | 8 | 11 | 8 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060214400 | 1060217970 | 2013 | 8 | 11 | 9 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060218000 | 1060221570 | 2013 | 8 | 11 | 10 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060221600 | 1060225170 | 2013 | 8 | 11 | 11 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060225200 | 1060228770 | 2013 | 8 | 11 | 12 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060228800 | 1060232370 | 2013 | 8 | 11 | 13 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060232400 | 1060235970 | 2013 | 8 | 11 | 14 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060236000 | 1060239570 | 2013 | 8 | 11 | 15 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060239600 | 1060243170 | 2013 | 8 | 11 | 16 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060243200 | 1060246770 | 2013 | 8 | 11 | 17 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060246800 | 1060250370 | 2013 | 8 | 11 | 18 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060250400 | 1060253970 | 2013 | 8 | 11 | 19 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060254000 | 1060257570 | 2013 | 8 | 11 | 20 | 0 | 0 |

図 3-4 解析結果例

4. 再解析の手順

ロールオーバーが起きる 2013 年 8 月 11 日(※1)以降、解析されない、SIG 保存フォルダに GPS 観測ファイル(SIG ファイル/RMG ファイル)が保存されていない等の症状が発生した場合、以下の手順で再解析を行ってください。

- ①「3 自動変換の設定手順」通り、自動変換の設定を行います。
- ②ロールオーバー対応を行わないと、GPS 観測ファイルは過去に戻った GPS 時刻の年月(例. 1993 年 12 月) (※1)で、SIG 保存フォルダ(例. C:\西宮 GPS 観測\SIG 保存\00000472\1993_12)に保存されます。
この GPS 観測ファイルを、SIG フォルダにコピーします。

・RMG ファイルの場合:

GPS 時刻が過去に戻った RMG ファイルが保存されている SIG 保存フォルダ(例. C:\西宮 GPS 観測\SIG 保存\RMG\00007474\1993_12)の全ての RMG ファイルを SIG フォルダ(例. C:\西宮 GPS 観測\SIG)にコピーします。

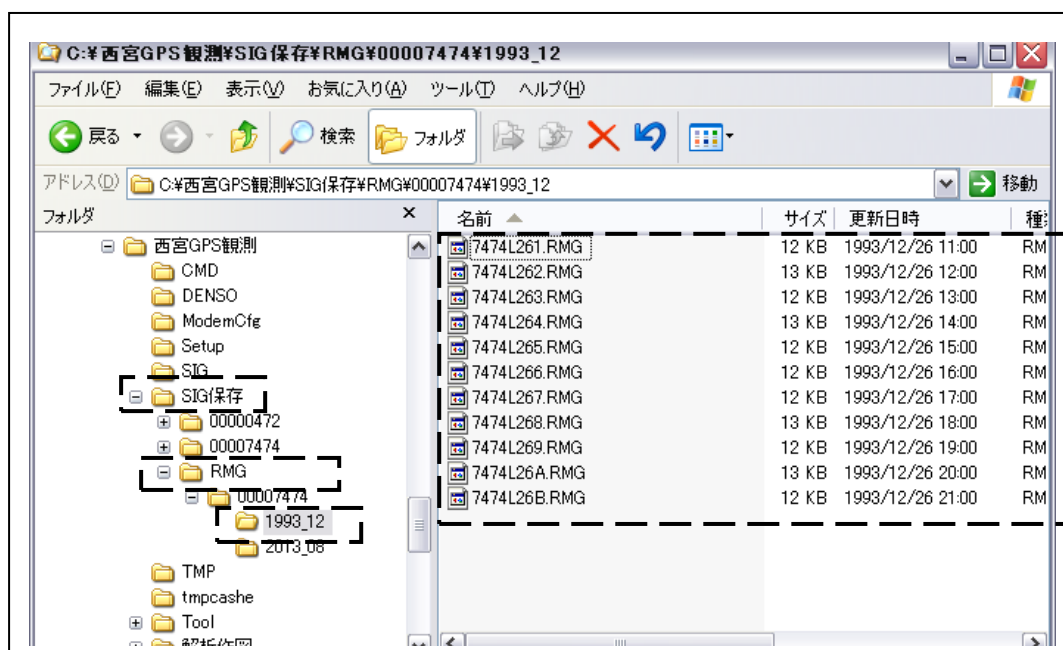


図 4-2 SIG 保存フォルダ例(RMG ファイル)

※1 ロールオーバーが起きる日は、及び、過去に戻った GPS 時刻は、GPS 受信機によって異なります。
詳細は、「表 1-1 GPS 受信機別ロールオーバー時期」を参照してください。

・SIG ファイルの場合:

GPS 時刻が過去に戻った SIG ファイルが保存されている SIG 保存フォルダ(例. C:\西宮 GPS 観測\SIG 保存\000007474\1993_12)の全ての SIG ファイルを SIG フォルダ((例. C:\西宮 GPS 観測\SIG))にコピーします。

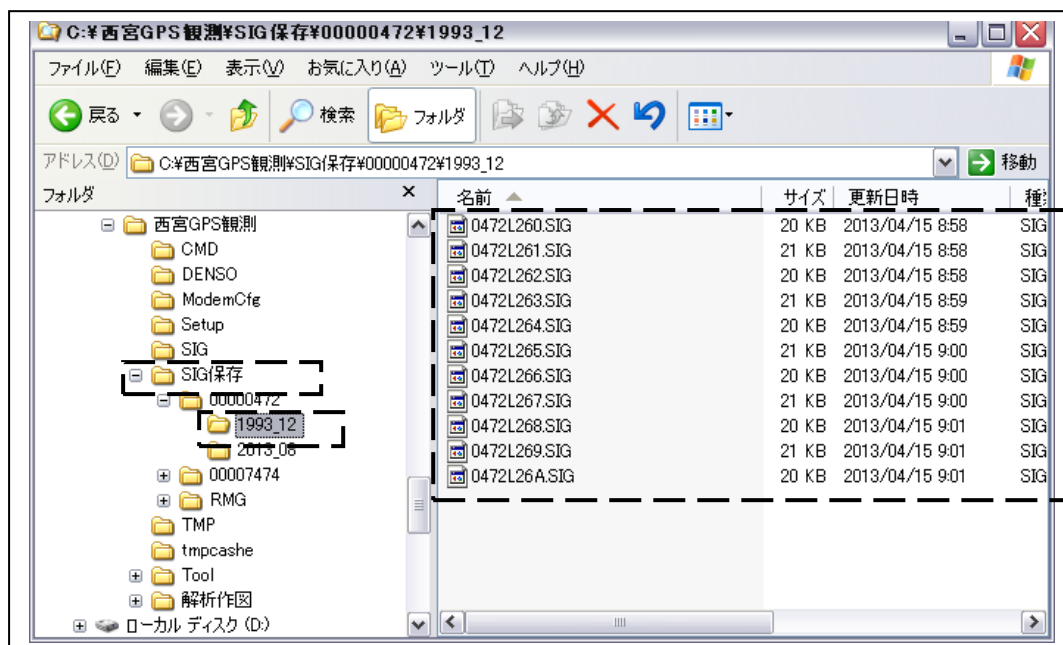


図 4-4 SIG 保存フォルダ例(SIG ファイル)

③ModemCenterPC.exe を起動し、メニュー[解析->今すぐ解析する]をクリックして、再解析を行います。

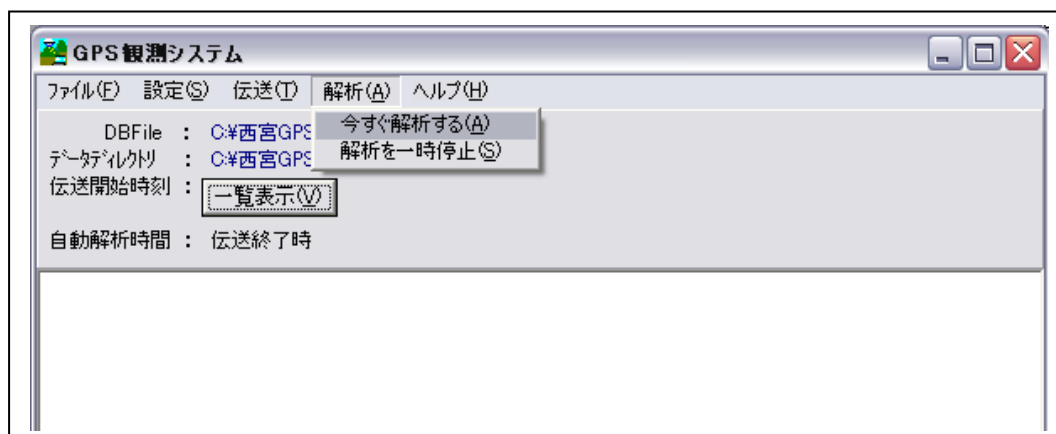


図 4-5 ModemCenterPC.exe

④再解析終了後、解析結果が出力されていることを確認してください。

解析結果ファイル(例. 0472-7474.txt)をエクセルで開き、“収集日時(年)”～“収集日時(秒)”までの日時[JST]に、正しい GPS 時刻が出力されていれば、ロールオーバー対応に成功しています。

| ID | 結果 | 解析対象開始GPS時刻(秒) | 解析対象終了GPS時刻(秒) | 収集日時(年) | 収集日時(月) | 収集日時(日) | 収集日時(時) | 収集日時(分) | 収集日時(秒) |
|------|----|----------------|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 7474 | 1 | 1060200000 | 1060203570 | 2013 | 8 | 11 | 5 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060203600 | 1060207170 | 2013 | 8 | 11 | 6 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060207200 | 1060210770 | 2013 | 8 | 11 | 7 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060210800 | 1060214370 | 2013 | 8 | 11 | 8 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060214400 | 1060217970 | 2013 | 8 | 11 | 9 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060218000 | 1060221570 | 2013 | 8 | 11 | 10 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060221600 | 1060225170 | 2013 | 8 | 11 | 11 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060225200 | 1060228770 | 2013 | 8 | 11 | 12 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060228800 | 1060232370 | 2013 | 8 | 11 | 13 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060232400 | 1060235970 | 2013 | 8 | 11 | 14 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060236000 | 1060239570 | 2013 | 8 | 11 | 15 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060239600 | 1060243170 | 2013 | 8 | 11 | 16 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060243200 | 1060246770 | 2013 | 8 | 11 | 17 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060246800 | 1060250370 | 2013 | 8 | 11 | 18 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060250400 | 1060253970 | 2013 | 8 | 11 | 19 | 0 | 0 |
| 7474 | 1 | 1060254000 | 1060257570 | 2013 | 8 | 11 | 20 | 0 | 0 |

図 4-6 解析結果例

5. 手動変換の手順

画面操作により、GPS 観測ファイル(SIG ファイル/RMG ファイル)のロールオーバー対応が行えます。

- ①ダウンロードした“MGROver.exe”と“Readme_MGROvertxt”を、解析フォルダ(※1)の配下にある TOOL フォルダに格納します(例. C:\西宮 GPS 観測\TOOL)。

※実際の解析フォルダ配下の TOOL フォルダに格納してください。

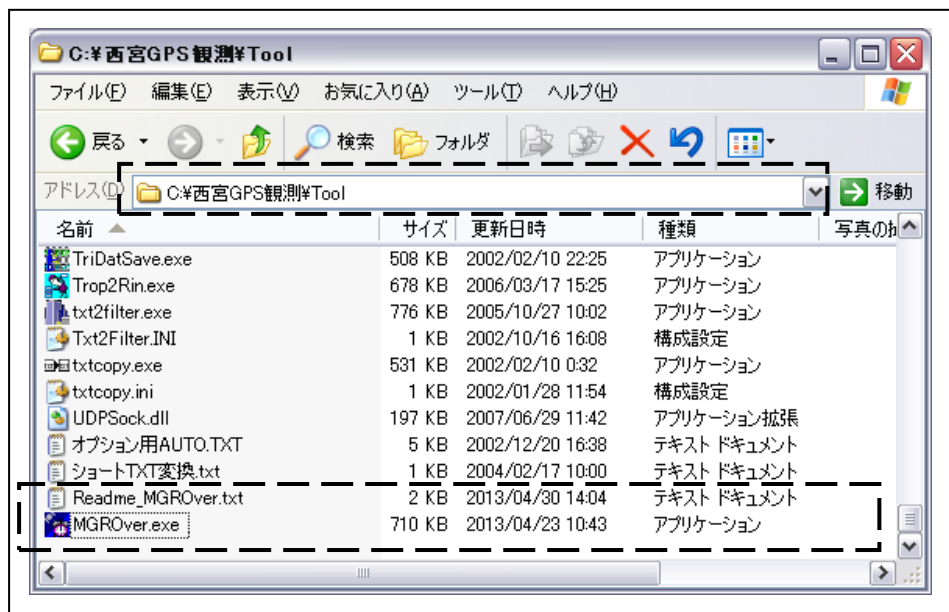


図 5-1 TOOL フォルダ例

※1 GPS 自動解析ソフトウェアをインストールしているフォルダ。

②GPS 観測ファイルを、SIG フォルダ(例. C:\西宮 GPS 観測\SIG)に格納します。

※実際の解析フォルダ配下の SIG フォルダに格納してください。

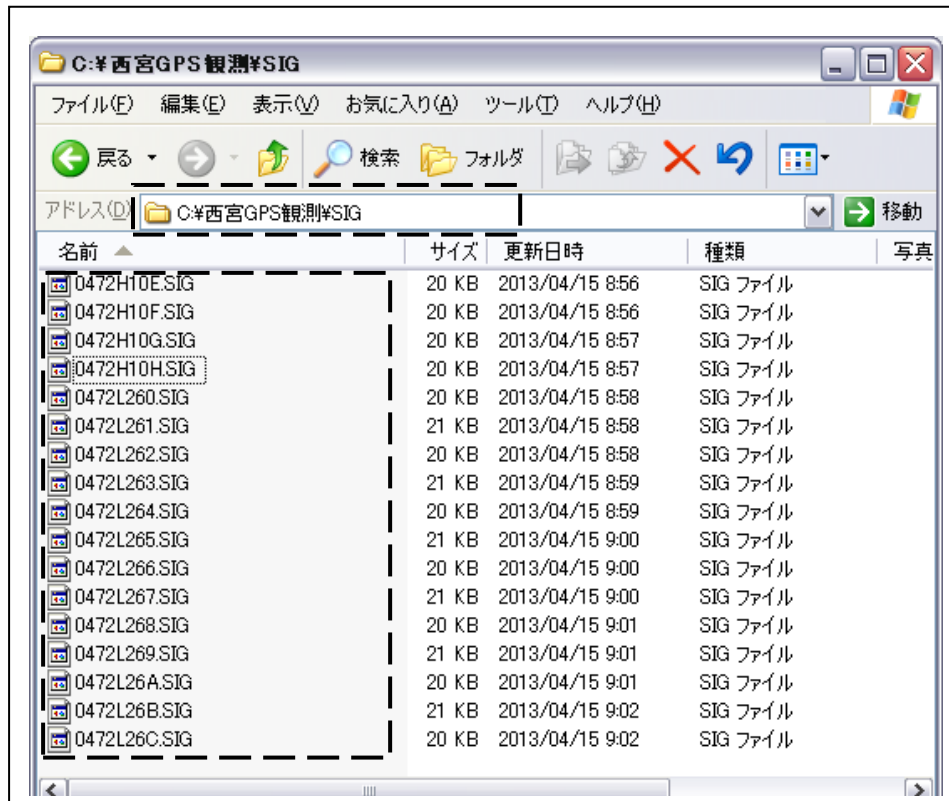


図 5-2 SIG フォルダ例

③MGROver.exe を起動します。

- ・元の GPS 観測ファイルの削除するか、削除しないかを選択します。

元の GPS 観測ファイルを削除する場合：

“☐ 変換成功後、入力 SIG、RMG ファイルを削除”をチェックします。

元の GPS 観測ファイルを削除しない場合：

“☐ 変換成功後、入力 SIG、RMG ファイルを削除”のチェックをはずします。

※MGROver.exe 起動時は、“☐ 変換成功後、入力 SIG、RMG ファイルを削除”がチェックされています。（元の GPS 観測ファイルは削除されます。）

- ・[次へ]をクリックします。



図 5-3 MGROver.exe 起動画面

- ④GPS 観測ファイルのあるフォルダを選択します。
- ・格納した GPS 観測ファイルのドライブ選択をします。
 - ・次に、フォルダを選択します。
 - ・上記②で格納した GPS 観測ファイルのファイル種別を選択します。
ファイル種別は、以下の何れかになります。
 - ・SIG ファイル(.SIG)
 - ・1 時間 RMG ファイル(.RMG)
 - ・10 分 RMG ファイル(.RM0 ~ .RM5)

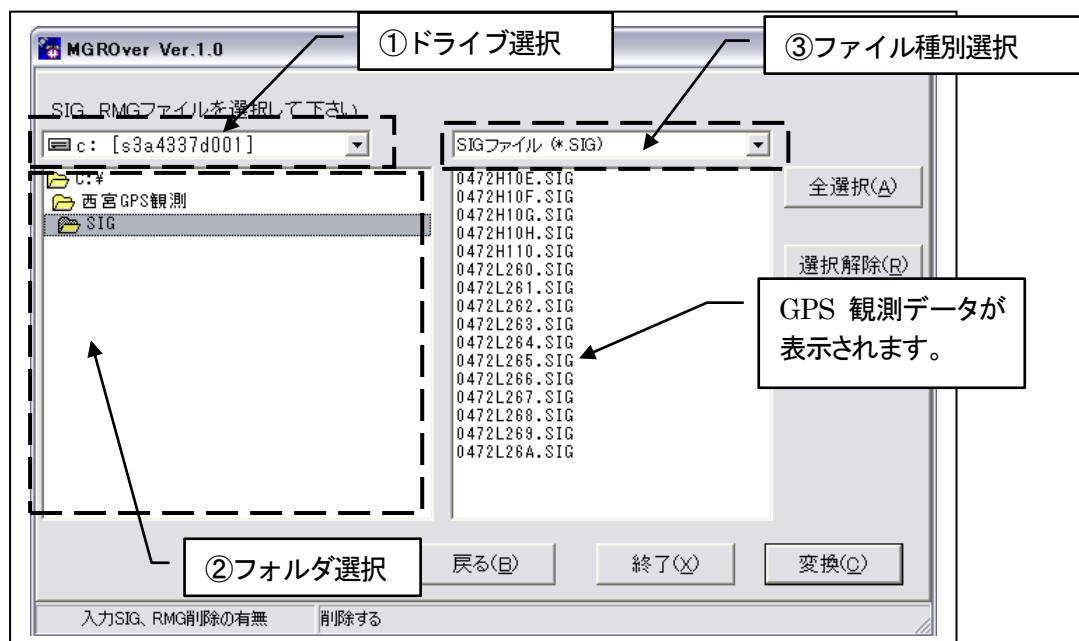


図 5-4 MGROver.exe ファイル選択画面(フォルダ選択)

⑤GPS 観測ファイルを選択し、[変換]をクリックします。

次の画面に遷移し、選択した GPS 観測ファイルのロールオーバー対応が行われます。

GPS 観測ファイルの選択方法は、以下の通りです。

- ・表示している GPS 観測ファイルを全てロールオーバー対応する場合：
[全選択]をクリックします。
- ・表示している GPS 観測ファイルを任意でロールオーバー対応する場合：
ファイル名を直接クリックします。
キーボードの Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら、ファイル名をクリックすると複数選択できます。

選択した GPS 観測ファイルを解除したい場合は、[選択解除]をクリックします。

※本プログラムは、過去に戻った GPS 時刻か、正しい GPS 時刻かの判定をしており、正しい GPS 時刻については変換を行いません。

よって、正しい GPS 時刻の GPS 観測ファイルを選択しても問題ありません。

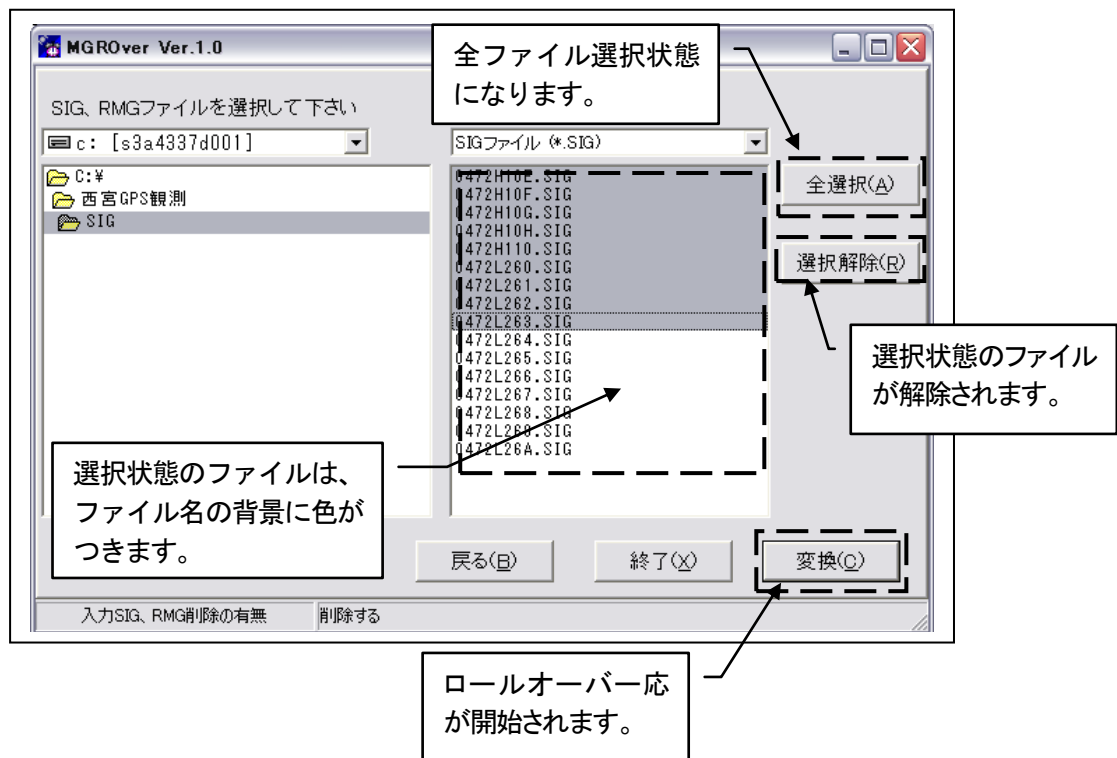


図 5-5 MGROver.exe ファイル選択画面(ファイル選択)

ロールオーバー対応中は、進行状況とロールオーバー対応中のファイル名が表示されていきます。
 ロールオーバー対応を中止したい場合、画面下の[変換中止]をクリックします。
 ロールオーバー対応中の GPS 観測ファイルのロールオーバー対応が終了すれば、中止されます。

ロールオーバー対応中とロールオーバー対応終了時の画面の状態は、下表を参照してください。

| 画面の状態 | ロールオーバー対応中 | ロールオーバー対応終了時 |
|--------------|------------|--------------|
| 進行状況 | “変換中…”が表示 | “変換終了”が表示 |
| [戻る]ボタンの操作 | 無効 | 有効 |
| [終了]ボタンの操作 | 無効 | 有効 |
| [変換中止]ボタンの操作 | 有効 | 無効 |

表 5-1 画面の状態

ロールオーバー対応中の画面:

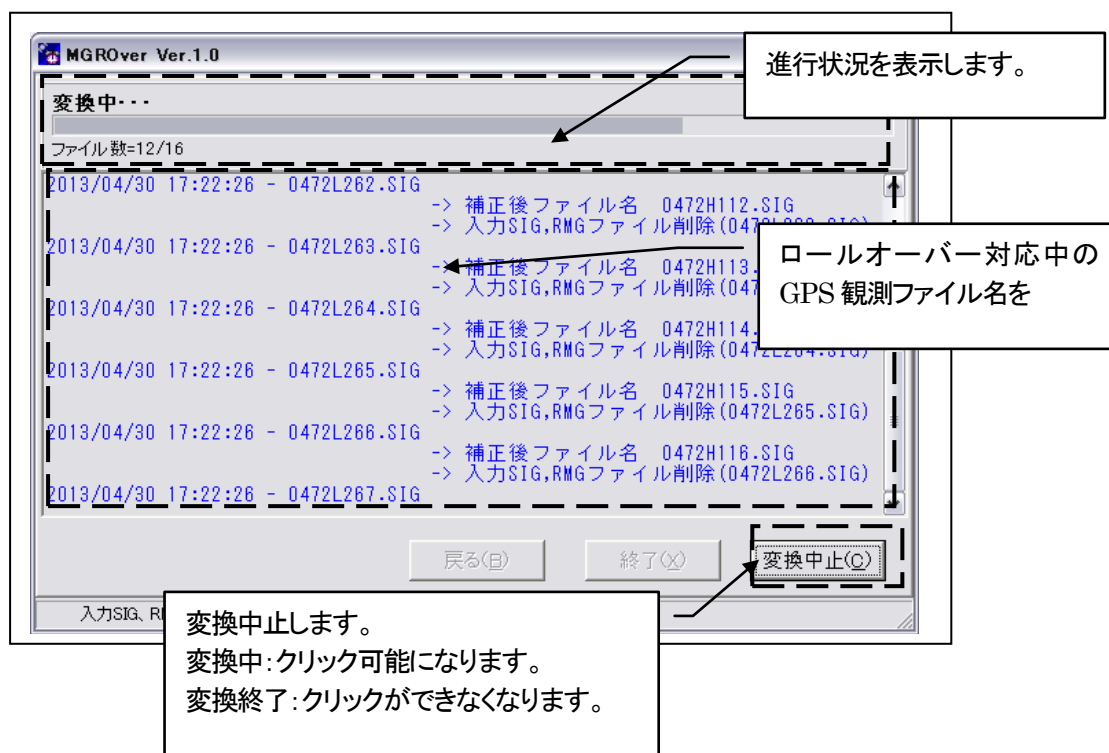


図 5-6 ロールオーバー対応中の画面

ロールオーバー対応終了時の画面:

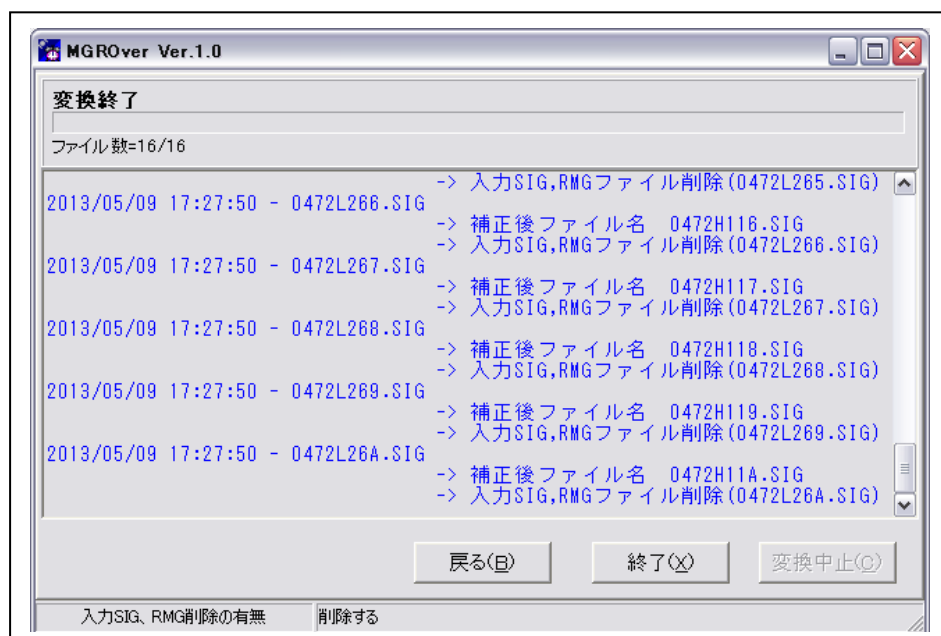


図 5-7 ロールオーバー対応終了時の画面

ロールオーバー対応を中止した時の画面:

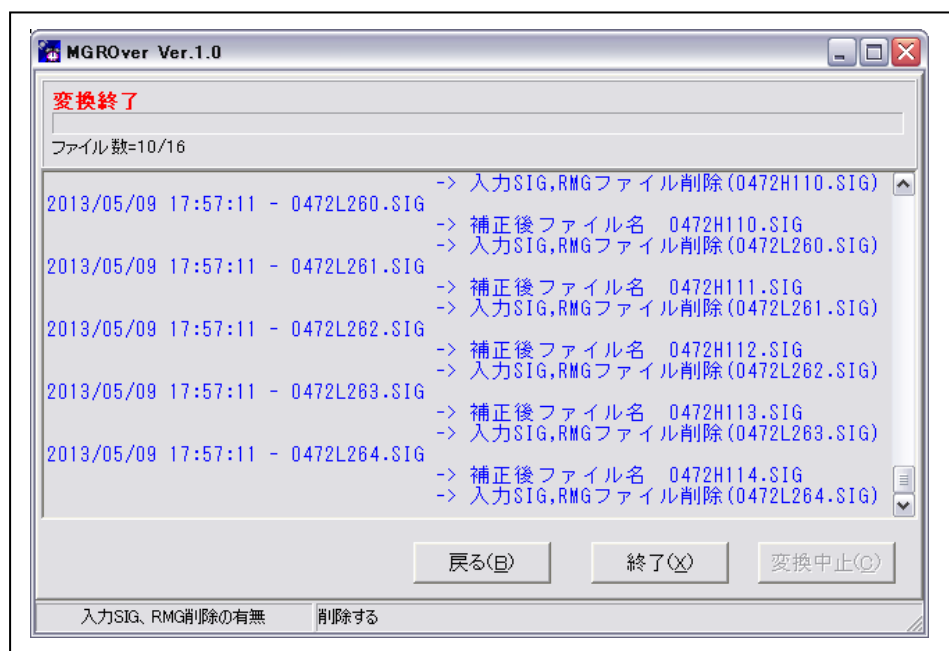


図 5-8 ロールオーバー対応を中止した時の画面

- ⑥別の GPS 観測ファイルをロールオーバー対応したい場合は、[戻る]をクリックします。
[戻る]をクリックすると、前画面に戻るなので、上記⑤の手順でロールオーバー対応を実施します。

終了する場合は、[終了]をクリックします。
本プログラムが終了します。

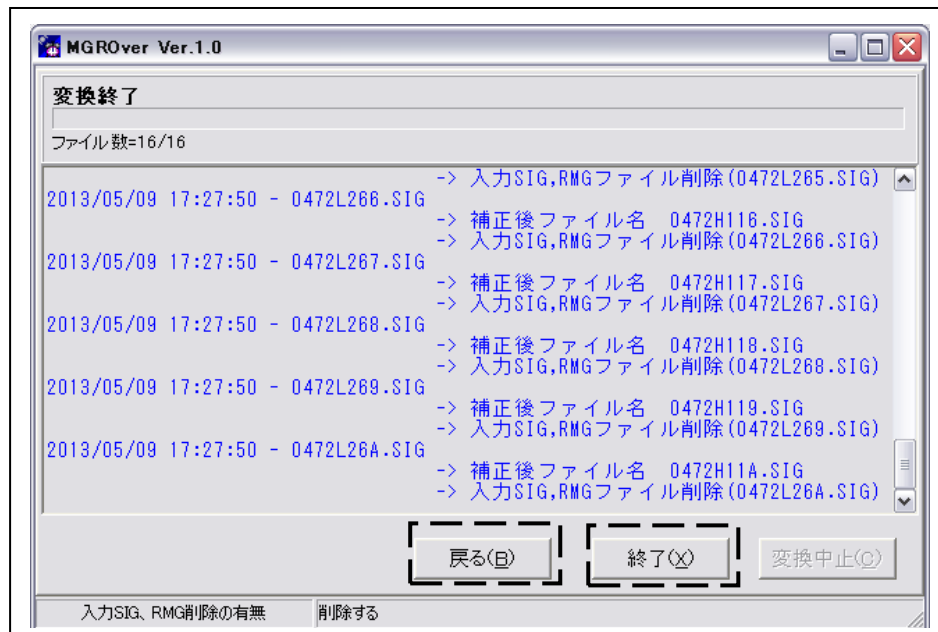


図 5-9 ロールオーバー対応終了時の画面

以上